

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	入居者が地域の一員としての日常的な交流が少ない。	日常的に地域との交流を図ることで入居者のこれまでの継続した生活を支援すると共に地域へグループホームの役割を知ってもらうことが出来る。	①近隣の地域資源を活用し日常的な外出の機会を増やす。 ②地域行事に入居者と共に参加する。 ③ホームで交流会を計画する。	12ヶ月
2	26	入居者や家族の意見や要望に対してサービスを実施しているが介護計画に反映されていない計画書がある。	介護計画書に入居者や家族の意見や要望を反映することで、現状に即した介護計画を作成するとともに、その意見・要望等を意識したサービスの提供に繋げる。	入居者やご家族の意見や要望を反映した、現状に即した介護計画を作成する。	12ヶ月
3	35	地域防災協力委員を立ち上げ年2回の消防訓練を実施しているが、災害時に迅速に対応できるよう常日頃から火災通報装置等の取り扱いを全職員が周知する必要がある。	災害時に備え通報及び避難誘導が確実に行える。	①火災通報装置等の取り扱い手順や操作方法の勉強会の実施 ②防災避難訓練の実施	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。